

オープンソースソフトウェア指向型作曲支援プラットフォームの開発

— みんなで作るソーシャル作曲広場 —

小林 悟史 前田 高宏

・開発の背景

- ・音楽市場の縮小、それに伴うマーケットでのプレイヤー（アーティスト）の苦悩
- ・ネット上に溢れる著作権違法コンテンツ



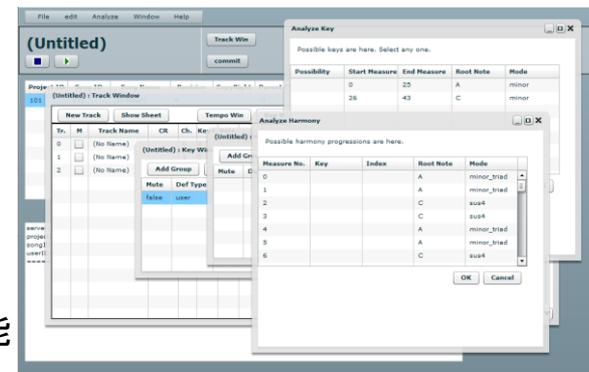
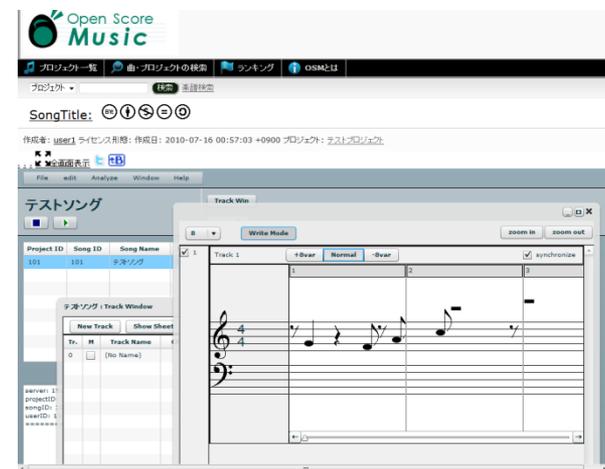
- ・ニコニコ動画で楽曲を無料で公開するユーザーたちと、そこから発生する正のスパイラル現象
- ・オープンソースソフトウェア(OSS)が発展してきた点と多数の類似点

・目的:『OSM:OpenScoreMusic』の開発とリリース

- ・ニコニコ動画などで起きた『オープンなプラットフォームのもと、ユーザー同士で楽曲を進化させていく』という流れを推進
- ・音楽業界あるいはアーティストの新しいビジネスモデル・生き方を築くための作曲基盤

・実現した主要な機能、特徴(従来との比較)

- ・オンライン上で作曲プロジェクトを作成し、ブラウザの上だけで作曲が可能
- ・楽譜に対して、Creative Commonsベースの著作権を付与し、その定義したライセンスの許す範囲内で他のユーザーが楽譜のデータを閲覧・複製・改変・商用利用が可能



オープンソースソフトウェア指向型作曲支援プラットフォームの開発

— みんなで作るソーシャル作曲広場 —

小林 悟史 前田 高宏

・実現した主要な機能、特徴(従来との比較)

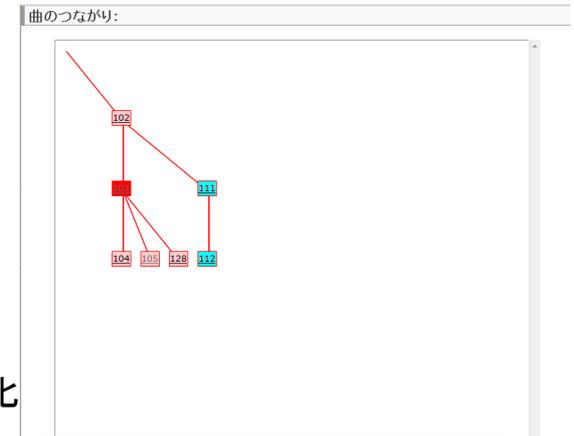
- ・バージョン管理機能により、楽譜の改変履歴がすべて残り、さらにそこから派生作品を簡単に作成可能
- ・音楽理論をベースとした楽曲・楽譜の検索
- ・ユーザーが作成した楽曲・楽譜同士で、関連の深いもの同士を見つけて推薦しあう機能

・今後の展開

- ・iPhoneなどのスマートフォン向けOSMアプリケーションの開発
- ・サーバー部分の仕様とAPIを公開、作曲用Flashのオープンソース化
- ・既存の作曲ソフトとOSMとの連携、あるいはプラグイン開発
- ・多言語化、国際展開

・対象ユーザーと期待される効果

- ・素人作曲家・演奏家～準プロミュージシャン
- ・OpenScoreという新しい音楽における概念の普及
- ・新しいビジネスモデル、アーティストの成長モデルの構築
- ・アーティストの脱ガラパゴス化
 - ・例:楽譜はOSMの中で公開。含む歌詞(今後対応予定)
 - ・中国人のユーザが歌詞を翻訳
 - ・中国語の歌手や中国語が歌えるVocaloidでレコーディング



キーワード: プロジェクト

コード進行から検索

ルートノート	コードタイプ	長さ
C	Major triad	1分音符 × 1 曲
E	minor triad	1分音符 × 1 曲
D	m7	1分音符 × 1 曲
G	?	1分音符 × 1 曲

more...

・OSMは日本のアーティストの楽曲を世界(アジア)のユーザに届けるための基盤を目指します